

## 資料2

## 「更なる休業延長」があった場合の学習の進め方について（予告）

休業期間中の4～5月の授業は、各学年の年間指導計画をスタートさせる重要かつ基礎的な学習内容となっています。今後、更に休業延長があった場合、限られた授業日数の中で、登校再開後の授業をスムーズかつ焦点化して進めるために、現在授業で進めることのできない学習内容を、今後配布する学習プリントの問題としてお子さんに取り組んでいただこうと考えています。

学校教育では、本来、担任が授業を通して学習内容の理解・定着を図っていかねばなりません。今回の非常事態に関して、通常の授業活動が行えない事情をご理解の上、保護者の皆様におかれましては、お子さんの学習を進めるご協力をお願いいたします。

- 1. 休業中の学習内容** 各学年で、国語・算数・理科・社会（低学年では生活科）を中心に学習計画を立てました。体育や図工、外国語など、その他の教科についても、各学年で若干の時間を用意しています。
- 2. 休業中の学習の進め方・1** 算数等の教科では、お子さんが自分で学習を進められる内容の単元を入れ替え、学習計画を立てました。教科書や、各学年で配布される解き方のヒント等が書かれたプリントを参考の上、お子さんが問題に取り組むようになっています。
- 3. 休業中の学習の進め方・2** 今後配布する「学習・生活チェックシート」で、お子さんが毎日自分が取り組んだ学習内容を記録します。学習プリント、及び学習・生活チェックシートは1週間ごとに担任へ提出し、学習の進捗や、定着状況についてチェックを受け、添削の方法で指導していきます。
- 4. 休業中の学習時間** 仮に5月末までの休業延長だとすると、5月11日（月）からの授業日は15日間となります。全学年で1日4時間の授業を行ったこととして、4時間×15日＝60時間分を、休業期間中の学習時間として考えてみました。  
1授業時間は45分と考えますので、お休みの日以外は1日計180分＝3時間の学習時間を毎日行うこととなります。ご家庭の事情もあるでしょうが、休業延長があった場合は、生活リズムを整えるためにも、できる限り午前中に時間割に沿って学習を済ませられるよう、お子さんと話し合ってください。

## ご家庭の方へのお願い

各学年から配布される学習計画表や、学習を進めるヒント等の資料を基に、お子さんが学習を進めるサポートとして以下のご協力をお願いいたします。

- ① お子さんが1人で問題を解くことが難しい場合、一緒に問題を解く等のご協力をお願いいたします。
- ② 学習・生活チェックシートに「おうちの人からひとこと」の欄がありますので、提出前にご記入下さい。
- ③ 学習プリントには答えもつけています。各ご家庭で〇つけや、解き直しの機会を持つようお願いいたします。
- ④ お子さんの学びのサポーターとして、お子さんの努力をほめ、応援し、学習意欲を向上させる声かけ等をお願いいたします。